

2023年3月29日

## インクや着色を減らした容器を採用し、年間約800トンのCO<sub>2</sub>を削減 「環境に配慮した容器」を全国のセブン-イレブンに拡大

～2023年5月下旬より順次切り替えし、夏に全国完了予定～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、2023年5月下旬より順次、全国のセブン-イレブン 21,402 店舗（2023年2月末現在）にて、お弁当やお惣菜等で使用する容器を石油由来のインクや着色を削減したものに変更してまいります。

今回採用した容器は、石油由来のインクや着色を減らすことで容器本体と、容器の製造工程等において排出されるCO<sub>2</sub>を削減します。全国の店舗で換算すると、削減できるCO<sub>2</sub>排出量は年間約800トンの見込みです。この容器は着色工程を削減しているため、リサイクルしやすい設計になっています。

全国拡大に先立って、2022年12月より北海道内のセブン-イレブンにて導入を行い、様々な角度から検証を進め、物流効率を高めるために容器形状を一部変更する等の改善を行いました。

セブン-イレブンは今後も、全国の店舗ネットワークとサプライチェーン全体で環境負荷低減を推進し、豊かな地球環境を未来世代に繋いでいくため、取り組んでまいります。

### <概要>

#### ■新容器の特長：

石油由来のインクや着色を減らしているため、白色もしくは半透明でリサイクルしやすい容器。



#### ■対象商品：

お弁当、麺類、お惣菜等の約60アイテム

#### ■売場イメージ：



以上